

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和3年度 要求額 (千円)	令和3年度 最終査定額 (千円)		令和3年度 要求額 (千円)	令和3年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
総務部	総務課	(仮称)堺市総合防災セン ター整備事業	2,574,413	1,923,890	初度調弁	114,415	114,415	要求通り	—	1
					建設工事費	2,247,612	1,622,012	内容を精査	実施手法の精査	

## 令和3年度当初予算 予算要求シート

基本計画

施策番号  
5-(1)

局・課名： 消防局・総務課

事業名	(仮称)堺市総合防災センター整備事業	令和元年度決算額		令和2年度予算額		令和3年度要求額		
		345,160		2,646,960		2,574,413		
<p><b>【目的】</b> 本市における防災に関する中核拠点施設として、自助、共助、公助を総合的に推進し、地域防災力の向上を図るとともに、地震災害等により消防局庁舎等が被災し機能できない場合でも、災害対策活動を継続して実施できるような代替機能を有した防災拠点を整備し、災害対応力の向上を図るもの。</p> <p><b>【内容】</b> 新市建設計画及びマスタープランに基づき、地域防災力の向上と災害に強いまちづくりを推進するため、下記機能を備えた総合防災センターの整備を図るもの。 平常時 ①消防職員及び消防団員の災害対応能力を高める訓練や専門教育のための施設 ②自主防災組織や地域の防災リーダーを育成する研修・訓練施設 ③市民等へ防災に関する情報知識等を教育啓発する機能 非常時 ①災害対策用資機材の備蓄、救援物資の集積・配送拠点 ②消防局機能等の代替施設 ③緊急消防援助隊等の応援部隊の活動拠点としての機能</p> <p><b>【今年度要求のポイント】</b>  ・令和2年度から着手している建設工事の完了と付帯工事の着手 ・供用開始に向け必要となる整備費</p>	<b>債務負担行為</b>	期間		要求額(千円)				
			R ~ R					
	<b>主な要求内容</b>		(単位:千円)					
	項目		2年度予算	3年度要求額	内容・積算等			
	建設工事請負費		2,535,400	2,247,612	建設工事			
	工事監理ほか委託料		110,700	201,815	工事監理・展示制作・土地測量ほか			
	印刷製本費		800	450	建築図面印刷用			
	備品購入費等		0	123,538	備品等購入費			
	その他		60	998	各申請手数料ほか			
	合計		2,646,960	2,574,413				
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>								
<b>【経過(～2年度)】</b>		<b>【3年度】</b>		<b>【今後予定(4年度～)】</b>				
建設工事 展示制作業務		建設工事 展示制作業務 式典実施						
<b>その他 特記事項</b>								
関連事業:								

# (仮称) 堺市総合防災センター整備事業



## 大規模災害の発生に備え地域防災力の向上～「真・体験」ができる訓練施設～

(1) 消防職団員の高度な教育  
・訓練が実施できる施設の整備

(2) 訓練機能・啓発機能の一体的な施設である  
利点を生かし市民の方々が「体験型」訓練を  
実施できる施設の整備

(3) 大規模災害発生時の広域的な  
災害応急対策の拠点施設の整備

区分	内容	
消防訓練施設	実火災訓練	煙中・熱気訓練
	エレベーター救出訓練	低所救出訓練
	洞道訓練	消防用設備等査察訓練
	燃焼実験	竪穴訓練
救助訓練施設	救助基本訓練	
屋外訓練場	放水訓練	運転技能訓練
	震災訓練	
水難救助訓練施設	潜水訓練	溺者救出訓練

区分	内容
地震体験	過去の大規模地震の疑似体験
ガイダンスシアター	映像体験、防災講習、防火管理講習等
情報ライブラリー	パネル展示等により過去の災害などの学習
救急実習	心肺蘇生法やAEDなどの応急手当を学習
図上訓練	各種災害対応図上訓練
消火体験	水消火器や消火栓、可搬式ポンプの使用体験
避難体験	煙体験、暗闇体験
救出救護体験	倒壊家屋等からのガレキ救助方法を体験
消防用設備等学習	消防用設備等の体験及び学習
避難器具体験	マンション等の避難はしご等、各種避難器具の使用体験

区分	内容	
災害用備蓄倉庫	平時	災害用資機材等の備蓄物資の倉庫として使用する
	災害時	支援物資等の搬入、保管、荷捌き、避難所等への搬出を行う物資配送拠点
応援部隊集結スペース	大規模災害時、緊急消防援助隊などの応援部隊が集結できるよう敷地動線も考慮したスペースを確保する	
消防隊常駐施設	救助隊を配置し、防災拠点機能の強化を図る	